

40 シロチドリ

(チドリ目)

兵庫県ランク:A

Charadrius alexandrinus

繁殖個体群:A 越冬個体群:C 通過個体群:調

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

北海道では夏鳥、本州、四国、九州、沖縄では留鳥。兵庫県では周年見られる。河川の下流や河口の砂州、海岸砂浜に生息する。冬期は大きな群れが干潟や砂浜で見られる。甲殻類やゴカイ類、貝類などを採食する。砂地や砂礫地の地面に営巣する。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、隠岐、四国、九州、壱岐、対馬、男女群島、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、豊岡市、加古川市、赤穂市、(三木市)、高砂市、(養父市)、(丹波市)、南あわじ市、淡路市、たつの市、稲美町、(新温泉町) ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

要注目からAランクに変更。

主に県南部に分布し、県北部では少ない。近年、河川敷の荒廃と砂地の減少、海岸の人工化に伴い繁殖地が著しく減少・悪化している。繁殖個体群の消滅が危惧されるため、Aランクに変更した。また、本種は良好な砂浜環境の指標種としても重要である。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や砂浜、河口などの自然環境の保全および再生が重要。また、繁殖期に本種が見られる地域では、その繁殖環境である海岸砂浜や河川の砂州、砂礫地への人の立ち入りを制限するなどの措置が必要。



写真提供:三谷康則